

速報

飛島 第16回 TOBISHIMA CLEAN-UP 作戦 クリーンアップ

風薫る5月、みんなの“思い”を結集し、田下海岸で大奮闘！

豊かな自然に恵まれ絶好の観光スポットとなっている山形県唯一の離島「飛島」。一方、離島であることで漂着ゴミも流れ着きやすく、その処理も難しくなっている。この課題を解決しようと思った飛島クリーンアップ作戦は、今年が第16回目。5月28日(土)に24時間テレビチャリティ委員会などの支援のもと、官民産学の多様な協働で清掃活動が行われた。

今年の会場は田下(たのしり)海岸。高校生を含む、県内外から参加したボランティア、実行委員、島民等およそ240名が海岸に下り立った。透き通る海には不似合いなプラスチック類、発泡スチロール、漁網やロープなどがそこに帯をなしていた。

参加者は海岸線に沿って散らばり、漂着ごみの回収に取りかかった。天気に恵まれ、作業をしていると汗がにじんだ。

ゴミ袋はどんどんいっぱいになり、2時間半で集めたごみはトンパック約20袋、推定で約1.5トン。波の関係で漁船による運びだしができず、急ぎょ、バケツリレー方式での運びだしとなったが、今までの経験を活かしてスムーズに行われた。



飛島クリーンアップ作戦の今までの功績が認められ、構成団体の特定非営利活動法人パートナーシップオフィスが、第18回日本水大賞の国土交通大臣賞を受賞しました！

【参加者の声】

- ザ・山と海といった感じ。自然豊かだと思った。(10代女性)
- 今年はバケツリレーもスムーズだった。毛虫対策の除草もきちんとなっていてよかった。弁当もおいしかった。(60代男性)
- 庄内のほかの海と違って、飛島の海岸はごみが多いと思った。(10代男性)
- 外国からのごみが多いと思った。バケツリレーは大変だった。(10代女性)

●この事業は「公益社団法人24時間テレビチャリティ委員会・山形放送株式会社」の支援を受けて実施されました●

清掃終了後、参加者は漁協女性部の皆さんが準備してくれた、アラムの煮物、イカの塩焼き、ギバサの味噌汁といった飛島の料理に舌鼓を打った。

食後は、島内ガイドによる散策を楽しんだり、島のミュージアム潤(にま)で海ごみの展示を見たりしながら、それぞれに飛島への思いを深めた。

トビシマカンゾウが咲き始めた5月最後の土曜日。今年もまた、飛島からさわやかな風が吹いた。

●実行委員会構成団体●

一般社団法人山形県産業廃棄物協会
海上保安庁酒田海上保安部
合同会社とびしま
酒田市
鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会
東北公益文科大学
特定非営利活動法人美しい庄内
特定非営利活動法人庄内海浜美化ボランティア
特定非営利活動法人パートナーシップオフィス
とびしま漁村文化研究会
飛島コミュニティ振興会
藻場再生研究クラブ
山形県立酒田光陵高等学校家庭科部
山形県庄内総合支庁
山形放送株式会社
公益社団法人24時間テレビチャリティ委員会

●協賛●

公益社団法人東北海事広報協会

●協力●

株式会社みなど



鳥海山・飛島ジオパーク構想

日本海と大地がつくる水と命の循環

「鳥海山・飛島ジオパーク構想」は、秋田県由利本荘市・にかほ市・山形県遊佐町・酒田市の4つの自治体と地域住民が連携して、「日本ジオパークネットワーク」への加盟認定を目指して活動しています。現在は認定審査中で、今年の9月に認定の可否が発表される見込みです。



鳥帽子群島 / 大鳥帽子島



鳥帽子群島 / 戸島・盲島



荒崎南側海岸の浅瀬 (海食棚)



ゴト口浜の崖 (海食崖)

鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会事務局 tel:0184-62-9777 fax:0184-62-9788

第36回

全国豊かな海づくり大会

—— 森と川から海へとつなぐ 生命のリレー ——

やまがた



平成28年9月10日(土)・11日(日)

- 式典行事：酒田市民会館「希望ホール」
- 海上歓迎・放流行事：鼠ヶ関港（鶴岡市）
- 関連行事

- ◆ 酒田会場：酒田港本港地区 さかた海鮮市場周辺（9月10日～11日）
- ◆ 鶴岡会場：鶴岡市由良地区 ふれあい広場周辺（9月11日）
- ◆ 遊佐会場：遊佐町漁村センター・釜磯海水浴場（9月11日）

第36回全国豊かな海づくり大会
山形県実行委員会事務局
TEL 0235-64-0816
FAX 0235-66-3140